

the wall of self\_vltfml / Image size : H20×30.5cm,  
sheet size : H37×47.5cm/ pigment and tin foil  
glued on paper / 2019

## 坪田昌之 展 | Draw a line

会期：2022年10月25日（火）～11月5日（土）\*11月1日（火）、2日（水）休み

時間：13:00-19:00 \*最終日18:00迄

作家在廊予定日：10月25日（火）

H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Gallery は坪田昌之の個展 "Draw a line" を開催致します。

深遠静謐、シンプルかつ洗練されたフォルムを持つ坪田昌之の作品は、多くの個人コレクターを魅了するにとどまらず、世界中の建築家やインテリアデザイナーの感性と響きあいコラボレーションする機会も数多く与えられています。とりわけコミッションワーク（特注）として制作された作品が、国内外のオフィスビル、ホテル、マンション、病院など多岐にわたる建築・インテリアプロジェクトに納入設置され、多くの人の目に触れ愛され続けております。

坪田は作品制作に際し、人間が本能的根源的に自然と繋がる力や知恵が有しながら、進化と進歩の長い歴史の中で徐々に忘れられてしまった自然との共生の仕方を、自身の作品を通して現代と未来の人間に「未知の記憶 (unknown memory)」として呼び起こすことを問いかけようとしてきました。

坪田の作品は、木や石に線を彫ることによって生み出された立体作品が主であるが、今回の個展では、平面に描かれる"線"に焦点を当てた作品展示を行う。

・作家ステイトメント：今まさに生きているという実感を感じる事は、日々の重なった事象の中で埋没していく事のように思うことがある。"線"を引くということは様々な意味合いを孕んでいるが、自らの呼吸や鼓動と連動したその行為は、瞬間的であると同時に普遍性を感じ得るものとして、繰り返し、繰り返し重なっている。すると、平面的に描いている"線"の中に空間が生まれ、同じように刻まれた彫刻的手法の"線"との境が曖昧になり、平面作品と彫刻作品の捉え方が変化していくことを提示することになる。時間の積層の中で蠢く"生"を留めると共に、新たな視線の先を探せればと思う。

弊廊では、2015年、2018年、2020年に続き4回目の開催となります。この機会に是非ご来廊ご高覧頂きますようお願い申し上げます。

H-art Beat Gallery / Director : 西山 勝 Masaru Nishiyama

略歴：

- 1976年 大阪生まれ  
2001年 大阪芸術大学大学院 芸術制作研究科彫刻修了  
2008年 釜山ビエンナーレ "Art is Now" (韓国)  
2009年 個展 エミリオロマーニャ州公式行事 (ファエンツァ市庁舎／イタリア)  
2010年 『語りかける色とかたち』 坪田政彦・内田鋼一・坪田昌之 3人展 (中野邸美術館／新潟)  
2012年 個展 (INSA GALLERY／ソウル・韓国)  
2015年 個展 (H-art Beat Gallery／東京) '18 '20  
2016年 個展 (山木美術／大阪)  
2019年 個展 (gallery MOE LA／ロサンゼルス・アメリカ)  
2020年 グループ展 ResonancE (H-art Beat Gallery／東京) 他、個展・グループ展多数。

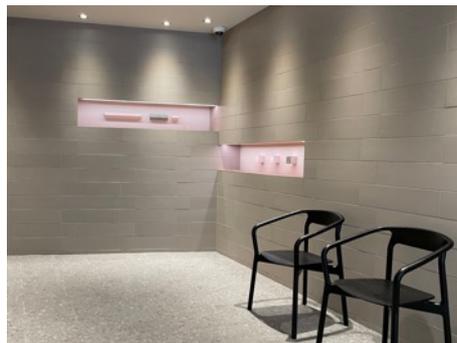
主な収蔵先：

- 大手町パークビルディング (東京)、アスコット丸の内東京 (東京)、南港駅オフィスビル (台北／台湾)  
ジオ新宿若松町 (東京)、ジオ世田谷松原 (東京)、パークハビオ日本橋蠣殻町 (東京)、プレミスト三鷹 (東京)  
プライムスタイル東日本橋 (東京)、ホテルインターコンチネンタル大阪 (大阪)、OPUS Arisugawa (東京)  
シスメックステクノセンター中央研究所 (兵庫)、東京ガーデンテラス紀尾井町 (東京)、UBS銀行東京支店 (東京)  
読売新聞和歌山支局 (和歌山)、トヨタ日進研修センター (愛知)、素粋居 (三重)  
ホテルブライトンシティ大阪北浜 \*全館プロデュース (大阪) 他多数。

代表作品：



the wind of self\_gstfs1 / H23×22×10cm /  
gesso on basswood, tin foil, stone / 2020



the wall of self / コミッションワーク/ 都内マンション  
エントランス / 2022



<新型コロナウイルス感染拡大防止対策について>

- ・ギャラリー入口に設置しておりますアルコール除菌スプレーをご使用の上、マスクを着用されてのご観覧をお願い致します。
  - ・ギャラリー空間の換気を随時行い、スタッフの手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用を徹底し、ご対応させていただきます。
- 皆さまには何かとご不便をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。
- 尚、会期中でのご来廊が難しい方は、作家や作品についてのメールでのお問合せもお気軽にご相談下さい。

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F | 2-38-20 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

Tel. & Fax. : 81-3-6256-8986 e-mail : masaru\_nishiyama@hartbeat.co.jp URL: <http://hartbeat.co.jp>